

黙示録9章：地獄からの災い

死んだ後に地獄に行くだけではない。地上に生きていて、地獄の苦しみを味わう！

1-11節：アポリュオン(破壊者)

「一つの星」：「星」はしばしば「天使」を示している(例:ヨブ記1章)。

この星は、悪魔

「暁の子、明けの明星よ。どうしてあなたは天から落ちたのか。国々を打ち破った者よ。どうしてあなたは地に切り倒されたのか。あなたは心の中で言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山にすわろう。密雲の頂に上り、いと高き方のように上ろう。』しかし、あなたはよみに落とされ、穴の底に落とされる。(イザヤ 14:12-15)」1)高慢になり2)穴の底に落とされた
墮落した天使も、穴の中に閉じ込められた

「神は、罪を犯した御使いたちを、容赦せず、地獄に引き渡し、さばきの時まで暗やみの穴の中に閉じ込めてしまわれました。(2ペテロ 2:4)」

底知れぬ穴に落ちるのを恐れる悪霊ども

「悪霊どもはイエスに、底知れぬ所に行け、とはお命じになりませんようにと願った。(ルカ 8:31)」

地獄について

ハデス(陰府)：死者が行く場所

旧約時代は、すべての人が陰府に下った。

ルカ伝 16章 19節以降に、ハデスの詳しい説明がある。

1)二つに区分されている。

2)一つは「アブラハムの懐」、もう一つは「苦しみの中」

3)アブラハムの懐では、アブラハムが約束を信じて死んだように、神の救いの約束を信じて死んだ人たちがいる。

4)この人たちは、イエス様が十字架で死なれて陰府に下られ、天に昇られた時に共に引き上げられた。
(エペソ 4:8-10)

5)神の最後の審判においてハデスから出て、その後、ゲヘナ(永遠の火)に投げ込まれる。(黙示 20:11-15)

ゲヘナ：永遠の滅びの場所

底知れぬ所：悪魔や悪霊どもが閉じ込められている場所。「底知れぬ所の縦穴(shaft)」

「いなご」：これはヨエルの預言から来ている話

イナゴがユダの地を襲うことを予告すると同時に、終わりの日にすべての国々を襲う恐ろしい軍隊がやってくることを預言した。

「さそり」：本物のイナゴではなく、イナゴの群れが農地を食い荒らすように人々を苦しめる形容。

「額に神の印」：14万4千人のイスラエル人(7章)

「死を求めるがどうしても見出せず」：ホーラー映画よりも恐ろしい！

「小羊の怒りから私たちをかかまってくれ(第六の封印が解かれた時)」

「アポリュオン」：破壊者の意味。

悪魔は、人々を破壊する破壊者である。

12-19節：二億の騎兵

「大川ユーフラテス」：バビロンがある所。ここから偶像崇拜とオカルト(霊媒など)が始まった。

「四人の御使い」：墮落した天使ども

「定められていた時、日、月、年」：神の裁きは正確に定まっている。

「人類の三分の一」：すでに第四の封印で四分の一が死んだ。第三のラツパで多くの人が死んでいる。

「騎兵」：現代のハイテク戦車を見たのか？

20-21節：悔い改めない人たち

1) 偶像礼拝や悪霊を拝む人は、悪霊によって苦しめられる。

2) 人の心は、ここまでかたくなである。(例: エジプトのパロ)

「それとも、神の慈愛があなたを悔い改めに導くことも知らないで、その豊かな慈愛と忍耐と寛容とを軽んじているのですか。ところが、あなたは、かたくなさと悔い改めのない心のゆえに、御怒りの日、すなわち、神の正しいさばきの現われる日の御怒りを自分のために積み上げているのです。(ローマ 2:4-5)」